

平成24年5月22日

参考資料送付

同時発表

県 政 記者クラブ  
厚 木 記者クラブ  
藤 沢 記者クラブ

### 厚木基地における艦載機着陸訓練の中止に係る要請結果について

厚木基地における艦載機着陸訓練について、本日、県知事及び厚木基地周辺9市長の連名で、米国及び日本政府に、別紙のとおり要請しましたのでお知らせいたします。

- 要請先
- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 駐日米国大使       | ジョン・V・ルース (※)      |
| 在日米軍司令官      | バートン・M・フィールド中将 (※) |
| 在日米海軍司令官     | ダン・クロイド少将          |
| 米海軍厚木航空施設司令官 | スティーヴン・J・ウィーマン大佐   |
| 外務大臣         | 玄葉 光一郎             |
| 防衛大臣         | 田中 直紀              |
- ※駐日米国大使及び在日米軍司令官へは郵送

#### ○ 要請結果

- |  |
|--|
| 在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 (対応者: ティム・ファーラー大佐)  |
| ○ 空母の故障により、急な訓練の必要性が生じやむなく厚木基地で訓練を実施することになった。厚木基地周辺住民への負担が最小限となるよう努力する。大変申し訳ないがご理解いただきたい。  |
| 米海軍厚木航空施設司令官 スティーヴン・J・ウィーマン大佐 (対応者: 同大佐)   |
| ○ 艦載機着陸訓練の実施については、空母ジョージ・ワシントンの運用上、メンテナンスが急遽必要となり、それに伴い厚木基地で実施することとなった。訓練の実施に伴う騒音や、日頃から騒音問題が発生していることも承知しているが、地域住民の方への配慮について最善をつくしたい。 |
| 外務大臣 玄葉光一郎 (対応者: 長尾首席事務官)  |
| ○ 米国大使館には、訓練を硫黄島で行うように要請した。引き続き、厚木での影響を最小限にとどめるよう米側に求めていきたい。   |
| 防衛大臣 田中直紀 (対応者: 山本南関東防衛局長)   |
| ○ すでに米海軍に対して周辺住民の影響を最小限にするよう求めた。   |
| ○ 今回の要請を受け、改めて米海軍に申し入れる。   |

※ 相模原記者クラブ、大和記者クラブにも同時に記者発料資料を送付

(参考) 厚木基地周辺9市: 大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、海老名市、座間市、横浜市、町田市

(問合わせ先)

神奈川県 総務局 基地対策部 基地対策課  
谷川・兄内  
電話:045-210-3370・3371 (直通)  
F A X:045-210-8825